

法学委員会社会と教育における LGBTI の権利保障分科会
第 25 期・第 3 回議事録

開催日時：2021 年 9 月 12 日（日）17:00-19:20（当初予定 19:00）

場所：オンライン会議

出席：伊藤、大河内、緒方、隠岐、紙谷、佐藤、島岡、高橋、谷口、内藤、二宮、星乃、三浦、三成、南野、矢野、吉沢、吉田（道）、吉田（容）

欠席：國分、鈴木、來田

1 提言に関する方針変更の議論状況について

・提言の提出主体を日本学術会議とし、分科会からは「見解」を发出する議論が進行中である。詳細については近日中に第一部委員長より説明があるため、後日改めて情報共有する旨、委員長から発言があった。

2 シンポジウムの開催について

共催するジェンダー法分科会主催のシンポジウムについて開催内容の修正に関する情報共有があった。

3 グループディスカッション

テーマ別のグループディスカッションを行った。

①ジェンダー統計

参加メンバー：三成、紙谷、高橋、三浦、内藤

②インターセックス

参加メンバー：伊藤、佐藤、谷口、二宮、吉沢

③同性婚・パートナーシップ

参加メンバー：大河内、隠岐、矢野、吉田（道）、星乃

事務連絡：第 3 課題「関係性」の会合を 2021 年 10 月 31 日（日）14 時から開催すること。そこでは、二宮先生にこの間の議論の経緯と課題をまとめていただき、それについて議論する。

④LGBT 基本法→包括的差別禁止法について

参加メンバー：緒方、島岡、吉田容子、南野

4 参考人レクチャー

・清水晶子教授（東京大学）から「トランスフォビア言説について」と題し、日本の現状をトランスナショナルでグローバルな広がりとの繋がりで理解すること、な

らびに、反ジェンダー運動との接続に注意しながら検証していくことの重要性についてレクチャーを受けた。

- ・レクチャー後、さまざまな視点から質疑応答と意見交換が行われた。

5 その他

- ・ジェンダー法分科会主催のシンポジウム延期・内容修正要請について詳細の情報共有を引き続きもとめたいとの意見があった。

- ・提言のあり方の方針変更を含めてジェンダー関係を扱う分科会で共同して意見表明をすべきとの提案があり、現在意見を取りまとめている他の分科会の情報の共有を検討していくことが合意された。

- ・提言のあり方の方針変更の意思決定過程や連携会員を含めた意見聴取のあり方について引き続き情報共有をお願いしたいとの意見があった。

以上